グローバル・ライフ株式ファンド（資産成長型）（予想分配金提示型）（愛称：ブライトライフ）

<3488> <3489>

(資産成長型)追加型投信／内外／株式
日経新聞掲載名：グロライ株資
(予想分配金提示型)追加型投信／内外／株式
日経新聞掲載名：グロライ株予

(資産成長型)
第１期　2023年12月21日決算

(予想分配金提示型)
第１期　2023年 9 月21日決算
第２期　2023年12月21日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の株式等の中から、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の２つのテーマに関連する企業の株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

(資産成長型)

第１期末	基準価額	10,273円
	純資産総額	7,044百万円
第１期	騰落率	2.7%
	分配金	0円

(予想分配金提示型)

第２期末	基準価額	10,183円
	純資産総額	1,777百万円
第１期～第２期	騰落率	2.8%
	分配金合計	100円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management
大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　受付時間　9：00～17：00（営業日のみ）
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD FONT　見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

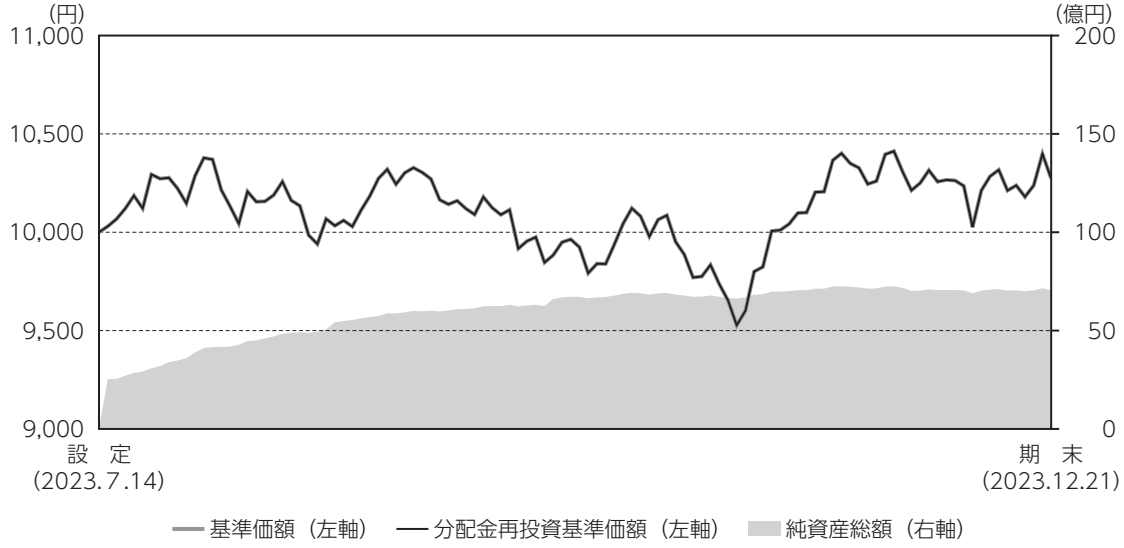
◇SKU0348820231221◇

「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法
上記のURLにアクセス　→　ファンド検索欄にファンド名を入力　→　リストから当ファンドを選択　→　運用報告書（全体版）を選択

資産成長型

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円
期　末：10,273円（分配金0円）
騰落率：2.7%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、主に米国の保有銘柄の株価上昇がプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

１万口当りの費用の明細

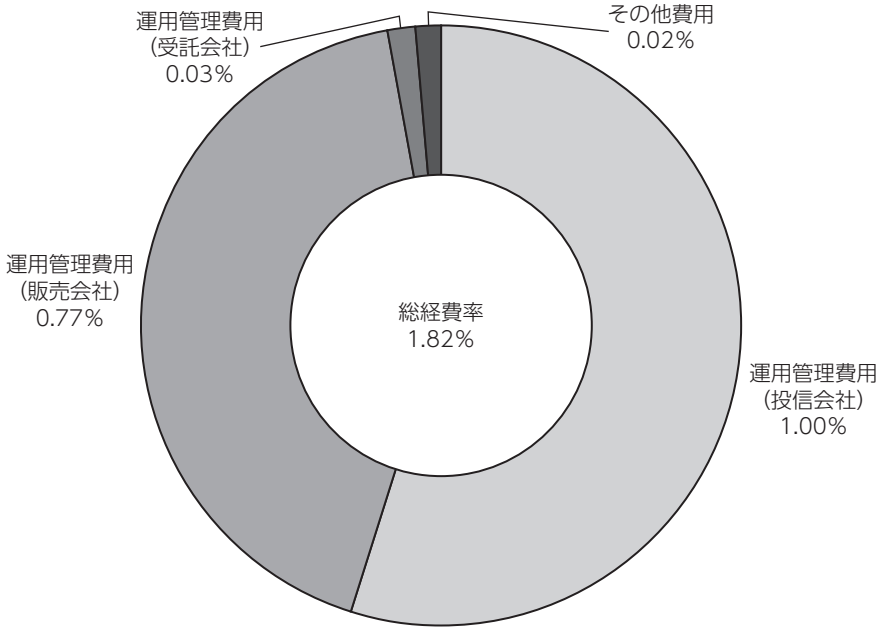
項　　目	当期 (2023.7.14~2023.12.21)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	80円	0.791%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は10,115円です。**
（投　信　会　社）	(45)	(0.440)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販　売　会　社）	(34)	(0.339)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(1)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	12	0.121	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株　　式）	(12)	(0.121)	
有価証券取引税	10	0.098	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株　　式）	(10)	(0.098)	
そ　の　他　費　用	1	0.011	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保　管　費　用）	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監　査　費　用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	103	1.022	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

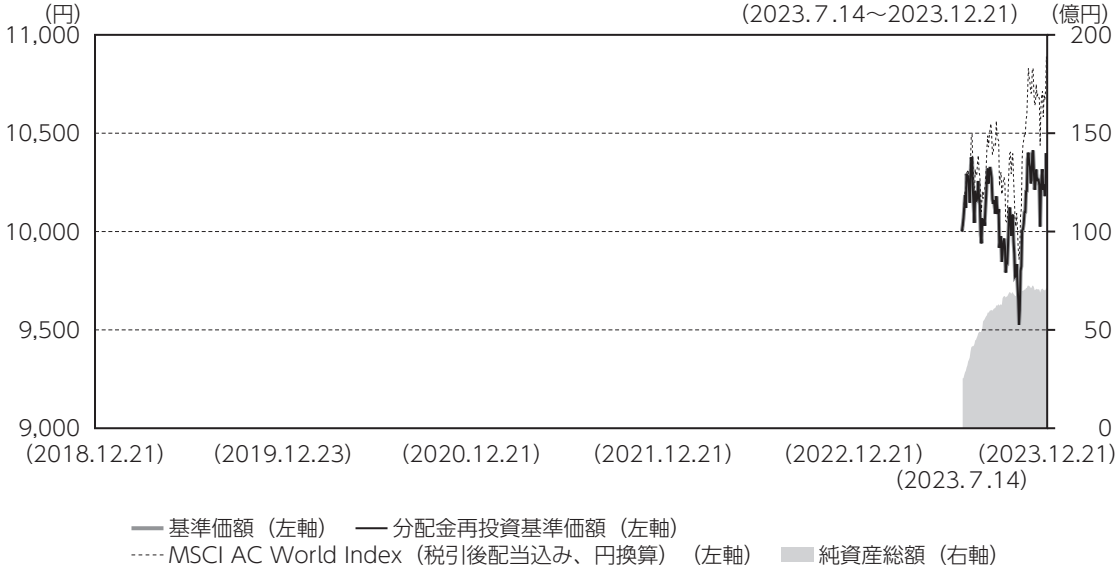
■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



（注1）1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。

最近５年間の基準価額等の推移について



（注）参考指数は、2023年７月14日を10,000として指数化したものです。

＊参考指数はMSCI AC World Index（税引後配当込み、円換算）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

		2023年７月14日 設定	2023年12月21日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,273
期間分配金合計（税込み）	(円)	－	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	－	2.7
MSCI AC World Index（税引後配当込み、円換算）騰落率	(%)	－	7.5
純資産総額	(百万円)	2,528	7,044

（注１）比率は小数点第１位未満を四捨五入してあります。
（注２）MSCI AC World Index（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「ＭＳＣＩ」）の承諾を得て、MSCI AC World Index（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。MSCI AC World Index（税引後配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。またＭＳＣＩは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html）
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について (2023.7.14～2023.12.21)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、米国の力強い経済指標やインフレ率の高止まりを受けて長期金利が上昇したことが嫌気され軟調に推移しました。その後、2023年９月のＦＯＭＣ（米国連邦公開市場委員会）において政策金利の見通しが引き上げられたことから、10月末にかけて一段と下落しました。しかし、米国雇用市場の過熱感が緩和したことや、12月のＦＯＭＣにおいて政策金利見通しが引き下げられ利下げ開始時期が早まるとの期待が高まったことから、当作成期末にかけて株式市場は大幅に上昇しました。

■為替相場

為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、上昇しました。しかし2023年11月以降は、米国金利の大幅な低下を背景に日米金利差の縮小が意識され、米ドルは対円で上昇幅を縮小しました。その他の通貨も米ドル円に連れる展開となりました。

ポートフォリオについて (2023.7.14～2023.12.21)

■当ファンド

当作成期を通じて「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

当ファンドは、運用にあたって、カンドリアム・エス・シー・エーから助言を受けています。

運用につきましては、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」という２つのテーマに着目し、それぞれのテーマに関連した優れた成長機会を有する企業に投資を行うことで、信託財産の成長をめざしました。当作成期においては、特に「いのちを輝かせる」に関連するサブテーマ「利便性の向上」や、「いのちを守る」に関連するサブテーマ「医療」を中心に投資を行いました。セクター別では、情報技術セクター、ヘルスケアセクター、資本財・サービスセクター、地域別では、米国や欧州を中心に投資しました。個別銘柄では、当ファンド設定以来、MICROSOFT CORP（米国）、NESTLE SA-REG（スイス）、PROCTER & GAMBLE CO/THE（米国）、UNITEDHEALTH GROUP INC（米国）を継続的に高位に保有し、ALPHABET INC-CL A（米国）やPALO ALTO NETWORKS INC（米国）など、成長期待の高い企業の比率を高めました。

当ファンドは、「ＥＳＧファンド＊」です。

＊ＥＳＧファンドとは、ＥＳＧを投資対象選定の主要な要素としており、その内容に関する開示が可能なファンドです。

＊当ファンドは、経済的リターンと並行して社会や環境にポジティブなインパクトをもたらす、いわゆる「社会的リターン」の獲得をめざすものではありません。

○ＥＳＧの観点により選定した銘柄への投資比率について

●ポートフォリオの75%以上がサステナブル投資銘柄（※１）となるようにポートフォリオを構築します。

（※１）サステナブル投資銘柄とは、カンドリアムが独自で付与したＥＳＧレーティング10段階のうち上位５段階以上の銘柄のことを指します。

◆ポートフォリオ組入銘柄のＥＳＧレーティングの内訳

	2023年 7月末時点	同 8月末時点	同 9月末時点	同 10月末時点	同 11月末時点
サステナブル投資銘柄	100.0%	100.0%	99.0%	100.0%	100.0%
上記以外	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%

（注）比率はポートフォリオに対する比率です。
（出所：カンドリアム）

●世界株式（MSCI ACWI）対比でＥＳＧスコア（※２）が上回った状態を維持することを目標とします。

（※２）ＥＳＧスコアとは、カンドリアム社独自の企業ＥＳＧ分析に基づき、分析結果を０から100で得点化したものです。

◆ＥＳＧスコアの比較

	2023年 7月末時点	同 8月末時点	同 9月末時点	同 10月末時点	同 11月末時点
当ファンド	56	55	55	55	55
世界株式（MSCI ACWI）	51	51	51	51	51

（出所：カンドリアム）

●世界株式（MSCI ACWI）対比で売上高当りの二酸化炭素排出量（カーボンインテンシティ）が30%以上下回った状態を維持することを目標とします。

◆カーボンインテンシティの比較

	2023年 7月末時点	同 8月末時点	同 9月末時点	同 10月末時点	同 11月末時点
当ファンド	78	76	59	76	83
世界株式（MSCI ACWI）	185	181	179	173	177
世界株式（MSCI ACWI）に対する当ファンドの比率	△57.6%	△58.2%	△67.1%	△56.3%	△53.1%

（注）単位はtCO_2e／百万EUR（売上高）です。
（出所：カンドリアム）

○カンドリアム・エス・シー・エーがスチュワードシップ方針に沿って実施した行動について

カンドリアムは、ファンドおよびポートフォリオマネジメントの活動において、可能な限りエンゲージメントを投資戦略に組み込んでおり、戦略、財務・非財務パフォーマンス、リスク、資本構成、社会・環境への影響およびコーポレート・ガバナンスなどの関連事項について、投資先企業をモニタリングしています。また、働きかけが有用と判断した場合、専任のスチュワードシップチームが投資先企業との対話を行い、議決権およびその他の株式に付随する権利を行使します。

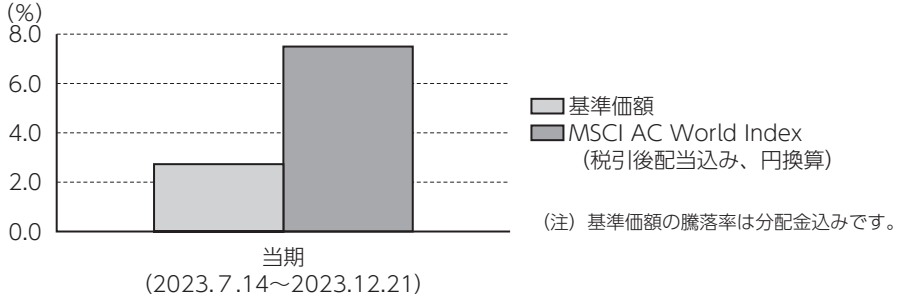
当作成期においても、顧客にとって最善の利益のために行動し、企業の優れたコーポレート・ガバナンスの実践を促し、企業内の変化を促進するために建設的な対話および議決権行使を実施しました。

カンドリアムのスチュワードシップ方針やスチュワードシップ活動の詳細については、カンドリアムのウェブサイトをご覧ください。

https://www.candriam.com/en/professional/insight-overview/publications/

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		当期 2023年７月14日 ～2023年12月21日
当期分配金（税込み）	**（円）**	**－**
対基準価額比率	（%）	－
当期の収益	（円）	－
当期の収益以外	（円）	－
翌期繰越分配対象額	（円）	272

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注４）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

今後の運用方針

■当ファンド

「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

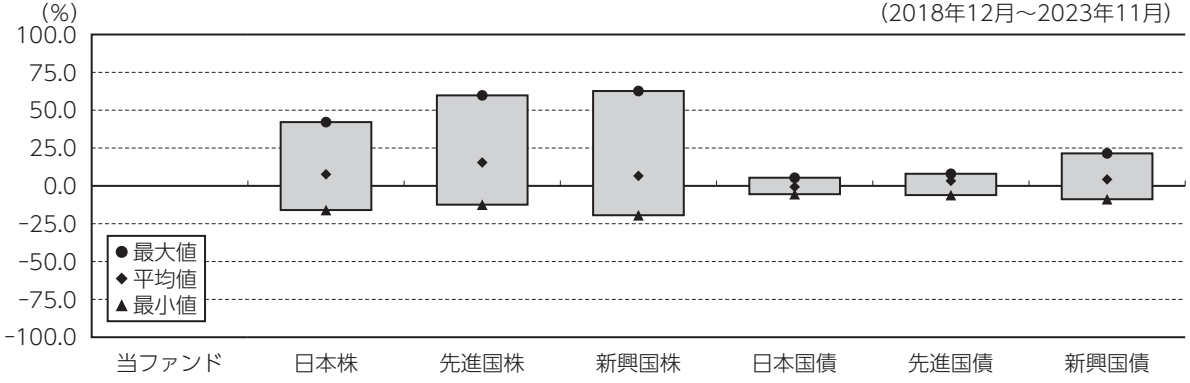
当ファンドでは、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の２つのテーマに関連する企業の株式等に投資を行います。「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野におけるさまざまな課題を解決する企業に着目します。「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。

運用にあたっては、“いのち”にまつわる２つのテーマに関連する企業の中から、ＥＳＧスクリーニングやファンダメンタルズ分析等を実施することにより銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。幅広い視点から投資を行うことで、さまざまな企業の成長機会を捉え、長期的に良好なパフォーマンスを生み出すことをめざします。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2023年7月14日～2050年6月21日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	グローバル・ライフ株式マザーファンドの受益証券
	グローバル・ライフ株式 マザーファンド	イ．日本を含む世界の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。またＤＲ（預託証券）を含みます。） ロ．日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下総称して「リート」といいます。）
マザーファンドの運用方法	①主として、日本を含む世界の株式等（※１）の中から、「いのちを守る」（※２）および「いのちを輝かせる」（※３）の２つのテーマに関連する企業の株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。 ※１　株式等には、リートを含みます。 ※２　「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野における様々な課題を解決する企業に着目します。 ※３　「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。 ②株式等の運用にあたっては、カンドリアム・エス・シー・エーから助言を受けます。なお、株式等にかかる議決権の行使に関する権限は、カンドリアム・エス・シー・エーに委託します。 ③株式等の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最　大　値	－	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
平　均　値	－	7.6	15.4	6.6	△0.6	3.3	4.3
最　小　値	－	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去５年間における年間騰落率（各月末における直近１年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。
※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。
※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
※ファンドの年間騰落率において、過去５年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。
①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。
※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
※資産クラスについて
日本株……配当込みＴＯＰＩＸ
先進国株……ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株……ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債……ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債……ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債……ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について
●配当込みＴＯＰＩＸの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●ＭＳＣＩコクサイ・インデックスおよびＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックスは、ＭＳＣＩ Inc.（「ＭＳＣＩ」）が開発した指数です。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html）●ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●ＦＴＳＥ世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

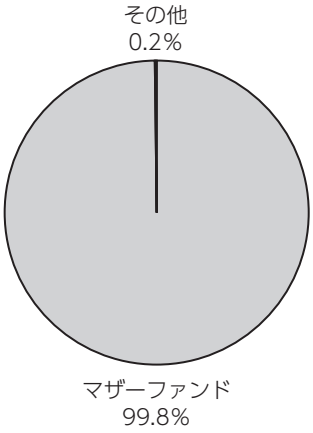
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

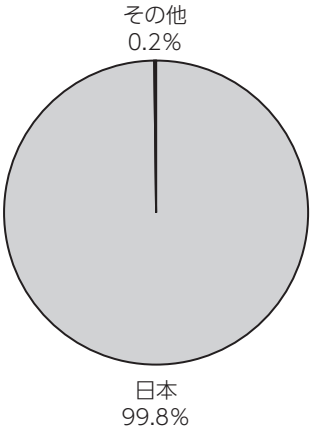
■組入ファンド等

	比率
グローバル・ライフ株式マザーファンド	99.8%
その他	0.2

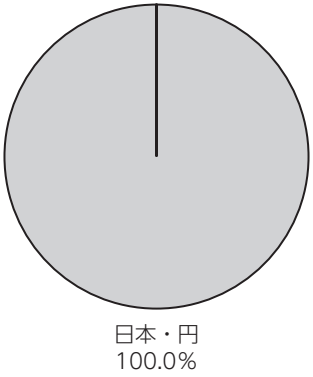
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注1）上記データは2023年12月21日現在のものです。
（注2）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注3）国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位３ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項　　目	当　期　末
	2023年12月21日
純資産総額	7,044,783,579円
受益権総口数	6,857,621,274口
１万口当り基準価額	10,273円

＊当期中における追加設定元本額は4,608,429,534円、同解約元本額は279,012,991円です。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

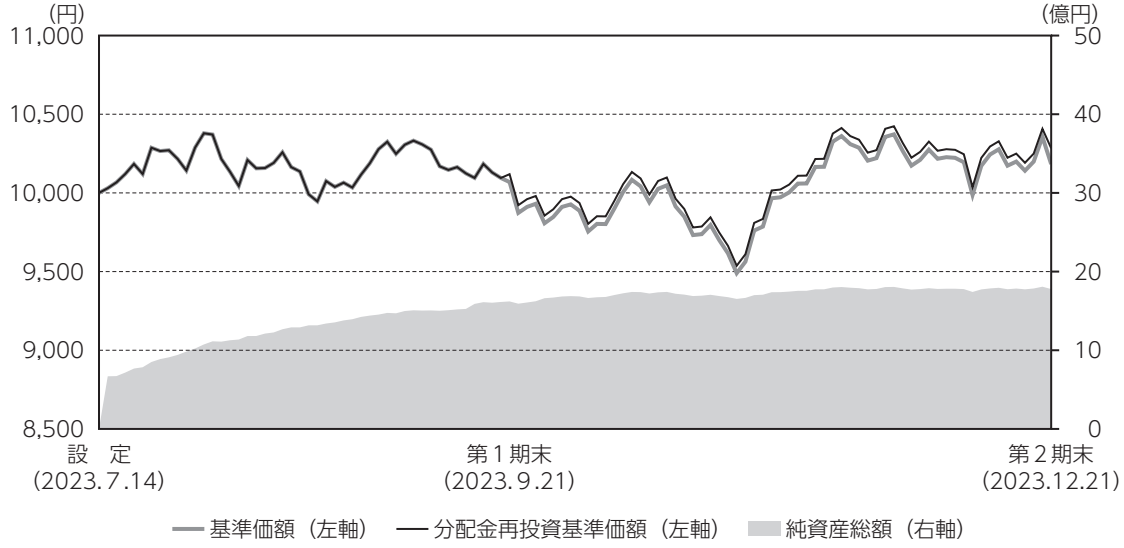
◆グローバル・ライフ株式マザーファンド

当ファンド（グローバル・ライフ株式ファンド（資産成長型）（予想分配金提示型））の主要投資対象ファンドである「グローバル・ライフ株式マザーファンド」は、2023年12月21日現在、第１期決算を迎えておりません。

予想分配金提示型

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

設 定 時：10,000円
第２期末：10,183円（既払分配金100円）
騰 落 率：2.8%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、主に米国の保有銘柄の株価上昇がプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

１万口当りの費用の明細

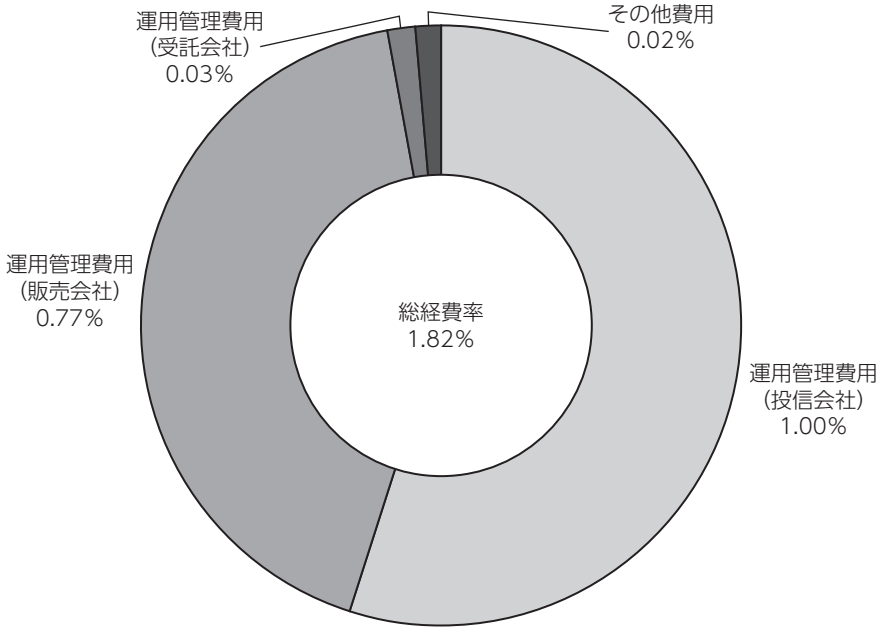
項　　目	第１期～第２期 (2023.7.14～2023.12.21)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	80円	0.790%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は10,102円です。**
（投　信　会　社）	(44)	(0.440)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販　売　会　社）	(34)	(0.338)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(1)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	14	0.142	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株　　式）	(14)	(0.142)	
有価証券取引税	12	0.118	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株　　式）	(12)	(0.118)	
そ　の　他　費　用	1	0.011	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保　管　費　用）	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監　査　費　用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	107	1.061	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

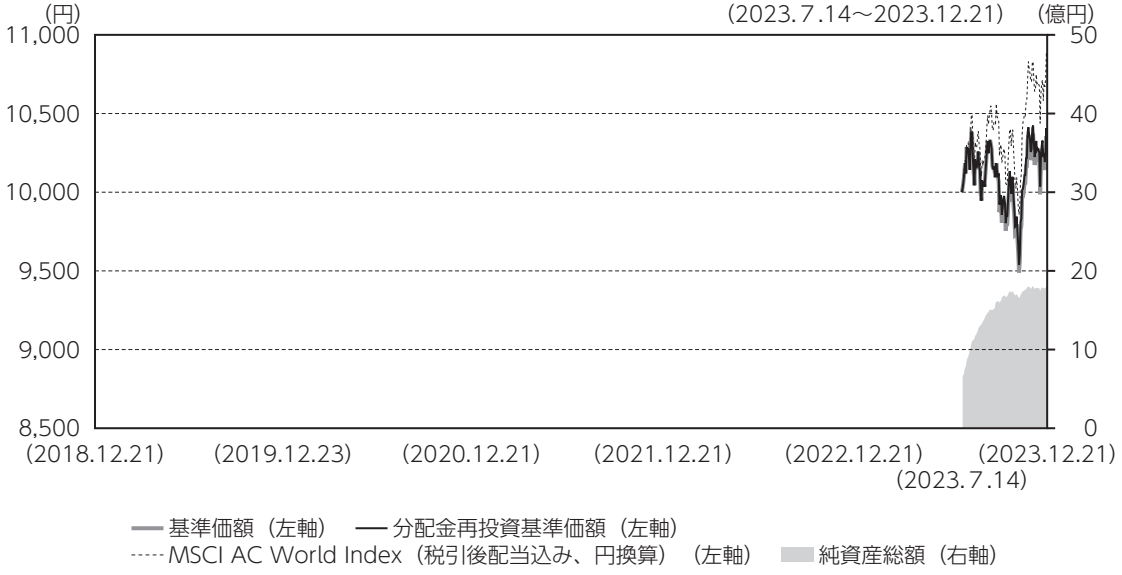
■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



（注1）1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。

最近５年間の基準価額等の推移について



（注）参考指数は、2023年７月14日を10,000として指数化したものです。

＊参考指数はMSCI AC World Index（税引後配当込み、円換算）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

		2023年７月14日 設定	2023年12月21日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,183
期間分配金合計（税込み）	(円)	－	100
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	－	2.8
MSCI AC World Index（税引後配当込み、円換算）騰落率	(%)	－	7.5
純資産総額	(百万円)	667	1,777

（注１）比率は小数点第１位未満を四捨五入してあります。
（注２）MSCI AC World Index（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「ＭＳＣＩ」）の承諾を得て、MSCI AC World Index（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。MSCI AC World Index（税引後配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。またＭＳＣＩは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html）
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について (2023.7.14～2023.12.21)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、米国の力強い経済指標やインフレ率の高止まりを受けて長期金利が上昇したことが嫌気され軟調に推移しました。その後、2023年９月のＦＯＭＣ（米国連邦公開市場委員会）において政策金利の見通しが引き上げられたことから、10月末にかけて一段と下落しました。しかし、米国雇用市場の過熱感が緩和したことや、12月のＦＯＭＣにおいて政策金利見通しが引き下げられ利下げ開始時期が早まるとの期待が高まったことから、当作成期末にかけて株式市場は大幅に上昇しました。

■為替相場

為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、上昇しました。しかし2023年11月以降は、米国金利の大幅な低下を背景に日米金利差の縮小が意識され、米ドルは対円で上昇幅を縮小しました。その他の通貨も米ドル円に連れる展開となりました。

ポートフォリオについて (2023.7.14～2023.12.21)

■当ファンド

当作成期を通じて「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

当ファンドは、運用にあたって、カンドリアム・エス・シー・エーから助言を受けています。

運用につきましては、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」という２つのテーマに着目し、それぞれのテーマに関連した優れた成長機会を有する企業に投資を行うことで、信託財産の成長をめざしました。当作成期においては、特に「いのちを輝かせる」に関連するサブテーマ「利便性の向上」や、「いのちを守る」に関連するサブテーマ「医療」を中心に投資を行いました。セクター別では、情報技術セクター、ヘルスケアセクター、資本財・サービスセクター、地域別では、米国や欧州を中心に投資しました。個別銘柄では、当ファンド設定以来、MICROSOFT CORP（米国）、NESTLE SA-REG（スイス）、PROCTER & GAMBLE CO/THE（米国）、UNITEDHEALTH GROUP INC（米国）を継続的に高位に保有し、ALPHABET INC-CL A（米国）やPALO ALTO NETWORKS INC（米国）など、成長期待の高い企業の比率を高めました。

当ファンドは、「ＥＳＧファンド＊」です。

＊ＥＳＧファンドとは、ＥＳＧを投資対象選定の主要な要素としており、その内容に関する開示が可能なファンドです。

＊当ファンドは、経済的リターンと並行して社会や環境にポジティブなインパクトをもたらす、いわゆる「社会的リターン」の獲得をめざすものではありません。

○ＥＳＧの観点により選定した銘柄への投資比率について

●ポートフォリオの75%以上がサステナブル投資銘柄（※１）となるようにポートフォリオを構築します。

（※１）サステナブル投資銘柄とは、カンドリアムが独自で付与したＥＳＧレーティング10段階のうち上位５段階以上の銘柄のことを指します。

◆ポートフォリオ組入銘柄のＥＳＧレーティングの内訳

	2023年7月末時点	同8月末時点	同9月末時点	同10月末時点	同11月末時点
サステナブル投資銘柄	100.0%	100.0%	99.0%	100.0%	100.0%
上記以外	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%

（注）比率はポートフォリオに対する比率です。
（出所：カンドリアム）

●世界株式（MSCI ACWI）対比でＥＳＧスコア（※２）が上回った状態を維持することを目標とします。

（※２）ＥＳＧスコアとは、カンドリアム社独自の企業ＥＳＧ分析に基づき、分析結果を０から100で得点化したものです。

◆ＥＳＧスコアの比較

	2023年7月末時点	同8月末時点	同9月末時点	同10月末時点	同11月末時点
当ファンド	56	55	55	55	55
世界株式（MSCI ACWI）	51	51	51	51	51

（出所：カンドリアム）

●世界株式（MSCI ACWI）対比で売上高当りの二酸化炭素排出量（カーボンインテンシティ）が30%以上下回った状態を維持することを目標とします。

◆カーボンインテンシティの比較

	2023年7月末時点	同8月末時点	同9月末時点	同10月末時点	同11月末時点
当ファンド	78	76	59	76	83
世界株式（MSCI ACWI）	185	181	179	173	177
世界株式（MSCI ACWI）に対する当ファンドの比率	△57.6%	△58.2%	△67.1%	△56.3%	△53.1%

（注）単位はtCO_2e／百万EUR（売上高）です。
（出所：カンドリアム）

○カンドリアム・エス・シー・エーがスチュワードシップ方針に沿って実施した行動について

カンドリアムは、ファンドおよびポートフォリオマネジメントの活動において、可能な限りエンゲージメントを投資戦略に組み込んでおり、戦略、財務・非財務パフォーマンス、リスク、資本構成、社会・環境への影響およびコーポレート・ガバナンスなどの関連事項について、投資先企業をモニタリングしています。また、働きかけが有用と判断した場合、専任のスチュワードシップチームが投資先企業との対話を行い、議決権およびその他の株式に付随する権利を行使します。

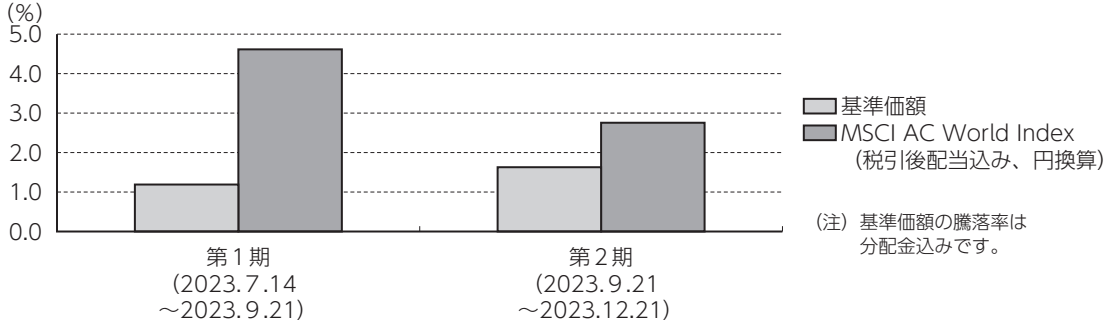
当作成期においても、顧客にとって最善の利益のために行動し、企業の優れたコーポレート・ガバナンスの実践を促し、企業内の変化を促進するために建設的な対話および議決権行使を実施しました。

カンドリアムのスチュワードシップ方針やスチュワードシップ活動の詳細については、カンドリアムのウェブサイトをご覧ください。

https://www.candriam.com/en/professional/insight-overview/publications/

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		第１期 2023年7月14日 ～2023年9月21日	第２期 2023年9月22日 ～2023年12月21日
当期分配金（税込み）（円）		**50**	**50**
対基準価額比率	(%)	0.49	0.49
当期の収益	(円)	15	50
当期の収益以外	(円)	34	－
翌期繰越分配対象額	(円)	69	182

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注４）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第１期	第２期
(ａ) 経費控除後の配当等収益	✓ 4.34円	✓ 17.06円
(ｂ) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 10.95	✓ 157.11
(ｃ) 収益調整金	✓ 103.97	58.41
(ｄ) 分配準備積立金	0.00	0.00
(ｅ) 当期分配対象額(ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ)	119.26	232.59
(ｆ) 分配金	50.00	50.00
(ｇ) 翌期繰越分配対象額(ｅ－ｆ)	69.26	182.59

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

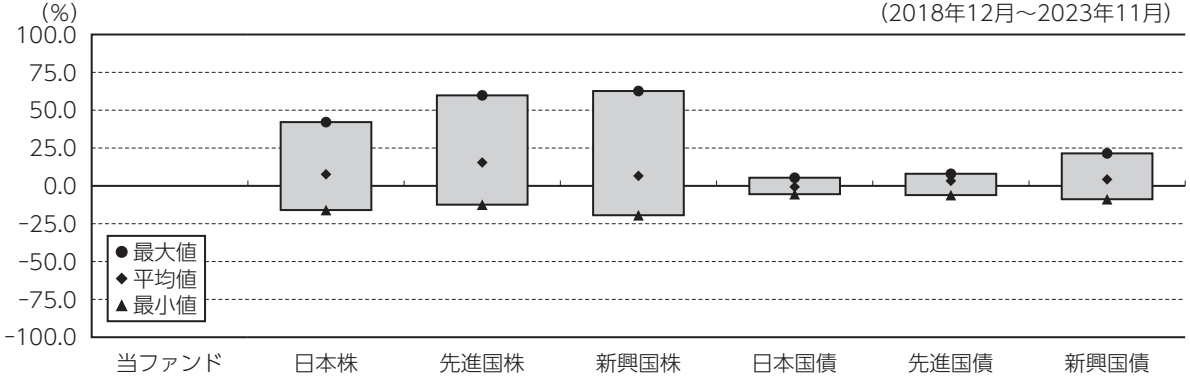
当ファンドでは、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の２つのテーマに関連する企業の株式等に投資を行います。「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野におけるさまざまな課題を解決する企業に着目します。「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。

運用にあたっては、“いのち”にまつわる２つのテーマに関連する企業の中から、ＥＳＧスクリーニングやファンダメンタルズ分析等を実施することにより銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。幅広い視点から投資を行うことで、さまざまな企業の成長機会を捉え、長期的に良好なパフォーマンスを生み出すことをめざします。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2023年7月14日～2050年6月21日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	グローバル・ライフ株式マザーファンドの受益証券
	グローバル・ライフ株式 マザーファンド	イ．日本を含む世界の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。またＤＲ（預託証券）を含みます。） ロ．日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下総称して「リート」といいます。）
マザーファンドの運用方法	①主として、日本を含む世界の株式等（※１）の中から、「いのちを守る」（※２）および「いのちを輝かせる」（※３）の２つのテーマに関連する企業の株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。 ※１　株式等には、リートを含みます。 ※２　「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野における様々な課題を解決する企業に着目します。 ※３　「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。 ②株式等の運用にあたっては、カンドリアム・エス・シー・エーから助言を受けます。なお、株式等にかかる議決権の行使に関する権限は、カンドリアム・エス・シー・エーに委託します。 ③株式等の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、下記イ．、ロ．およびハ．に基づき分配します。 イ．計算期末の前営業日の基準価額（１万口当り。既払分配金を加算しません。以下同じ。）が10,000円未満の場合、原則として、分配は行ないません。 ロ．計算期末の前営業日の基準価額が10,000円以上11,000円未満の場合、原則として、分配対象額の範囲内で、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。 ハ．計算期末の前営業日の基準価額が11,000円以上の場合、原則として、分配対象額の範囲内で、当該基準価額に応じ、下記の金額（１万口当り）を分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 (a)11,000円以上12,000円未満の場合・・・200円 (b)12,000円以上13,000円未満の場合・・・300円 (c)13,000円以上14,000円未満の場合・・・400円 (d)14,000円以上の場合・・・500円 なお、当該計算期末に向けて基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最　大　値	－	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
平　均　値	－	7.6	15.4	6.6	△0.6	3.3	4.3
最　小　値	－	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去５年間における年間騰落率（各月末における直近１年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。
※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。
※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
※ファンドの年間騰落率において、過去５年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。
①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。
※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
※資産クラスについて
日本株……配当込みＴＯＰＩＸ
先進国株……ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株……ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債……ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債……ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債……ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について
●配当込みＴＯＰＩＸの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●ＭＳＣＩコクサイ・インデックスおよびＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックスは、ＭＳＣＩ Inc.（「ＭＳＣＩ」）が開発した指数です。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html）●ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●ＦＴＳＥ世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

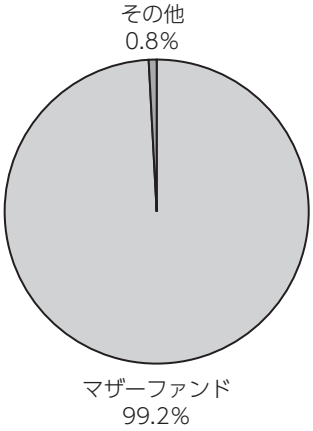
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

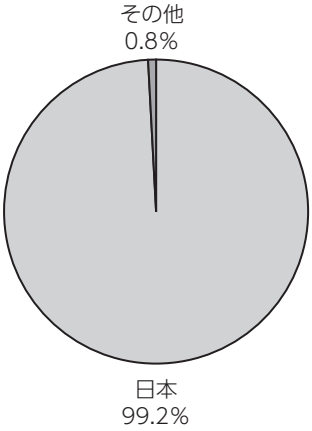
■組入ファンド等

	比率
グローバル・ライフ株式マザーファンド	99.2%
その他	0.8

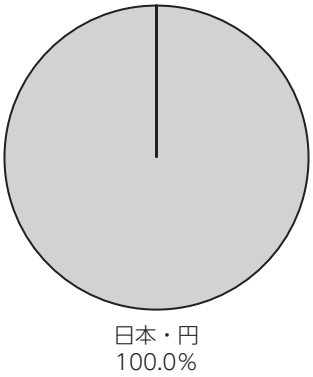
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注１）上記データは2023年12月21日現在のものです。
（注２）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注３）国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。「組入上位ファンドの概要」には、組入上位３ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	第１期末 2023年９月21日	第２期末 2023年12月21日
純資産総額	1,620,603,455円	1,777,892,173円
受益権総口数	1,609,454,792口	1,746,011,038口
１万口当り基準価額	10,069円	10,183円

＊当作成期間（第１期～第２期）中における追加設定元本額は1,098,904,934円、同解約元本額は19,898,287円です。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆グローバル・ライフ株式マザーファンド

12ページをご参照ください。

Memo

Memo

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management